

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年2月28日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考
							評価結果	
東京都地域間幹線系統確保維持協議会	西東京バス株式会社 第1号丹波線	奥多摩駅～奥多摩湖～丹波	バスロケーションシステムによる運行実績データの活用により、需要動向の把握に努め、鉄道事業者とも連携を図りながら、利用者にとって利用しやすいダイヤ編成、系統の設定を検討した。また、生産性向上の取組に掲げた沿線PR事業や各種臨時バスの運行等、関係者と連携を図りながら事業を実施し、利用促進に努めた。	B 災害等のやむをえない事由以外で運休便が発生した日はなく、事業は概ね計画通り実施されたが、新型コロナウイルス感染拡大による需要減の影響を受け、臨時運行便を削減したため計画通りの年間運行回数を確保することができなかった。	C 経費削減に努めたものの通期に渡ってコロナ影響を受け収入減となり、収支率は50%を下回り、1%以上の収支率の改善は図られなかった。 【収益】R1:20,487千円→R3:14,030千円 【費用】R1:36,751千円→R3:33,349千円 【収支率】R1: 55%→R3: 42%	沿線自治体と協議を重ね、周辺地域を運行するその他の系統も含めたエリア全体の運行回数の見直しを行うことで、観光需要の取り込み及び経費節減を図る。		<ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・観光客を含めた交流人口への利用促進策については、来訪者の動向を調査し分析を行った上で、効果的な利用促進策の検討を進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県との連携が非常に重要であることから、市町村とも連携を図ったうえで、アフターコロナ・ウィズコロナにおける人流の変化をとらえ、データを分析し、円滑な移動を図る取組の実績を積み重ね、自家用車から鉄道やバスなどへと変化していくなどの議論がなされることを期待する。
	西東京バス株式会社 第2号小菅の湯線	奥多摩駅～留浦～小菅の湯 奥多摩駅～大菩薩峠東口～小菅の湯	B 災害等のやむをえない事由以外で運休便が発生した日はなく、事業は概ね計画通り実施されたが、新型コロナウイルス感染拡大による需要減の影響を受け、臨時運行便を削減したため計画通りの年間運行回数を確保することができなかった。	C 経費削減に努めたものの通期に渡ってコロナ影響を受け収入減となり、収支率は50%を下回り、1%以上の収支率の改善は図られなかった。 【収益】R1: 14,972千円→R3: 13,724千円 【費用】R1: 35,078千円→R3: 33,387千円 【収支率】R1: 42%→R3: 41%				
	西東京バス株式会社 第3号鴨沢西線	奥多摩駅～奥多摩湖～鴨沢西	B 災害等のやむをえない事由以外で運休便が発生した日はなく、事業は概ね計画通り実施されたが、新型コロナウイルス感染拡大による需要減の影響を受け、臨時運行便を削減したため計画通りの年間運行回数を確保することができなかった。	C コロナ影響で収入減、全社走行キロ減によるキロ当たり経費単価増となり、収支率は50%を下回り、1%以上の収支率の改善は図られなかった。 【収益】R1:19,726千円→R3:14,854千円 【費用】R1:29,959千円→R3:30,555千円 【収支率】R1: 65%→R3: 48%				
	西東京バス株式会社 第4号数馬線	武蔵五日市駅～人里～数馬 武蔵五日市駅～払沢の滝入口～数馬 武蔵五日市駅～やすらぎの里～数馬	B 災害等のやむをえない事由以外で運休便が発生した日はなく、事業は概ね計画通り実施されたが、新型コロナウイルス感染拡大による需要減の影響を受け、臨時運行便を削減したため計画通りの年間運行回数を確保することができなかった。	C 経費削減に努めたものの通期に渡ってコロナ影響を受け収入減となり、収支率は50%を下回り、1%以上の収支率の改善は図られなかった。 【収益】R1:54,768千円→R3:46,731千円 【費用】R1:116,042千円→R3:111,285 【収支率】R1: 47%→R3: 41%				

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における 二次評価結果	備考
							評価結果	
東京都地域間幹線系統 確保維持協議会	西東京バス株式会社 第5号藤倉線	武蔵五日市駅～小岩～藤倉 武蔵五日市駅～やすらぎの里～藤倉		B 災害等のやむをえない事由以外で運休便が発生した日はなく、事業は概ね計画通り実施されたが、新型コロナウイルス感染拡大による需要減の影響を受け、臨時運行便を削減したため計画通りの年間運行回数を確保することができなかった。	C コロナ影響で収入減、全社走行キロ減によるキロ当たり経費単価増となり、収支率は50%を下回り、1%以上の収支率の改善は図られなかった。 【収益】R1:31,713千円→R3:30,221千円 【費用】R1:76,679千円→R3:77,054 【収支率】R1: 41%→R3: 39%			
第三者委員会における各委員からの意見								
<p>令和3年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組みを行う上で必要な観点であり、考慮されたい。</p> <p>○交通が都市の中で重要な役割を担っているが、公共交通だけではなく自転車や徒歩などを含め全体を体系化し、色々な組み合わせをしながらチャレンジすることが重要。</p> <p>○県や市町村それぞれの役割を考え、オリジナリティを出すことにこだわらず、他の良い事例を学び、まちの事情に合わせて取り入れていくことが重要。</p>								